

科目名	文 学 Literature			担当教員	長谷川 隆		
学 年	4年	学 期	前期	科目番号	09101	単位数	2
分 野	一般	授業形式	講義	履修条件	必履修		
学習目標	1. 種類の文学作品を深く読むことで、読解力を養い、また作者の独特な感性やさまざまな物の見方を学ぶことで現在を生きる自分の生き方を見つめ直すことができる。 2. 作品の主題や論旨に対して自分の意見を口頭で発表したり、文章にまとめたりすることができる。 3. 日本語の表見演習を通して、勉学や社会生活に必要な、より正しい日本語で表現できる力を身につける。						
進め方	講義形式を基本とするが、意見を書いたり発表したりしてもらうこともある。小テストも随時実施する。また、表現演習については、文章能力の習得のための講義と演習とを平行して実施する。予習・復習に努め、必要に応じて辞書も活用してほしい。						
学習内容	学習項目（時間数）			合格判定水準			
	※全体ガイダンス(1) 1. 現代文(13) (1) 「徒然草」(小林秀雄) (2) 「夢十夜-第一夜-」(夏目漱石) (3) 「自分の死を見届けるために」 (橋爪大三郎)			<ul style="list-style-type: none"> 近代の文学作品を読み、表現の意図を把握し、主題を導き出すことができる。また、それに対して自分の意見や感想をまとめることができる。 評論文を読み、論旨を捉えることができる。また、それに対して自分の意見や感想をまとめることができる。 			
	[前期中間試験](2)						
	※試験の解説(1) 2. 表現(6) ア. 敬語 イ. その他表現に関する演習 3. 評論(7) (1) 「おんなの鬼」(馬場あき子) (2) 「羊どろぼうの話」(加藤周一)			<ul style="list-style-type: none"> 勉学や社会生活に必要な基本的な日本語文章能力と知識を身につけることができる。 評論文を読み、論旨を捉えることができる。また、それに対して自分の意見や感想をまとめることができる。 			
	前期末試験						
試験返却(1)							
評価方法	1. 評価の内訳：提出物を30%、定期試験を70%とする。 2. 評点：学習内容の1、2～3をそれぞれ50%としてつける。 3. 授業に対する取り組みが悪い者については減点することがある。						
学習・教育目標との関係	建設工学コースの学習・教育目標(A-1)「広い視野を持ち、地球規模での環境問題やエネルギー問題などの社会問題を認識し、それらを説明できる。」に該当する必修得科目である。						
関連科目	国語(1年) → 国語(2年) → 国語(3年) → 文学(4年) → 古典文学(専攻科2年)						
教 材	教科書：プリント 辞 書：国語辞典 古語辞典 漢和辞典						
備 考	<ul style="list-style-type: none"> 本科目の単位は高等専門学校設置基準第17条4項により認定される。1単位当たり45時間の学修により単位認定を行う。 この科目は前期終了科目であり、年度内追認は平成24年10月1日から12月20日までの間で2回実施する。 オフィス・アワーは原則として毎週月曜日放課後である。質問等があれば気軽に長谷川教員室まで来てほしい。 						